

自治会活動 参加レポート

No. 9



東大和向原3・4号棟自治会・

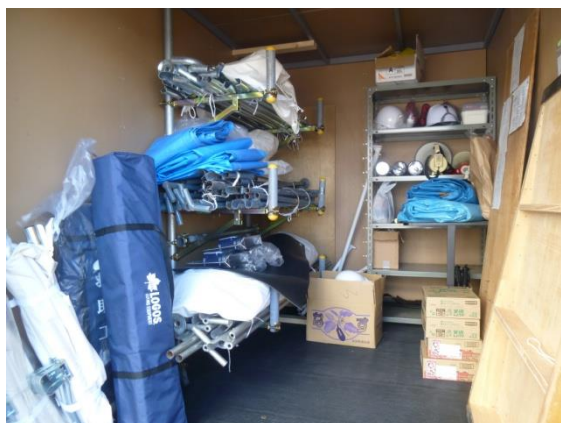
東大和市民会館

合同自衛消防訓練

(平成27年3月2日実施)

前日の雨もあがり、透きとおる青空のもと、東大和向原3・4号棟自治会と東大和市民会館（ハミングホール）との合同自衛消防訓練が行われました。3・4号棟と市民会館が隣接しているということで、過去にも合同訓練を行っているとのことですが、新しい市民会館指定管理者のもとでの初めての訓練となりました。

東大和向原3・4号棟自治会は常日頃から防災意識が高く、独自の防災倉庫も備えていました。また、会員の皆さんは防犯パトロールのベストを着用し、防犯面でも自治会を上げて力を入れている様子がうかがえました。



まずは、西側駐車場にて東京消防庁から派遣された起震車による、震度7の揺れを疑似体験し、上下水平に揺れる中でテーブルの脚をおさえたり、火の元の確認を行う訓練をしました。

訓練中には、お散歩中の保育園児が通りかかり、その激しい揺れをみて皆一様に喚声を上げ興味津々な様子。「ぼくものったことあるよ！」「こわくて乗れない…」「大人も訓練するんだね」と思い思いの言葉を口にしていました。子どもなりに訓練の大事さを感じていたようです。

そういった感想を子どもたちが感じ取れたのも、今回この場で訓練が行われていたからこそ。大人自身の訓練でもあり、またそれが子どもの防災意識の向上という波及効果をもたらしたという意味においても良い訓練であったのではと感じました。

また、水消火器を使用し、消防署員の「火災発生！」の掛け声のもと、初期消火訓練も実施。足元をかがめ腰を落とし、



下半身を安定させた後、的をめがけて一斉放水。訓練の疑似消火といえども、参加した皆さんの目は真剣そのもの。いかに皆さんが常日頃から防災を意識したまちづくりに取り組まれているか、手に取るようにわかりました。

後半はハミングホールにて、自治会の皆さんの協力のもと、避難訓練を行いました。訓練は、館内にて、大ホールでの火災が発生し、火災探知機が作動したとの想定のもの、足もとが暗く、避難しにくい状況の中、市民会館職員の誘導のもと避難訓練を行いました。

「毎年、独自の防災訓練を行い、災害時の被害の防止や軽減を図るため、また防災体制の整備と会員の防災意識の啓発、自助・共助の精神を高めています。今後も市や消防署の指導のもと、防災活動力の向上を図るため活動を進めたい。」と鈴木会長。参加した皆さんの言葉から、防災面も含めいかに日頃からよりよいまちづくりに尽力されているかがえた1日でした。



会長4年目の鈴木忠男さん

自治会加入を希望される場合には、ご近所の自治会役員、会員の方にお尋ねいただくか、市役所市民生活課市民協働係までお問合せください。

電話 042-563-2111（内線1711）

ファックス 042-563-5931

※平成29年4月より課名が「地域振興課」へ変更となりました。